

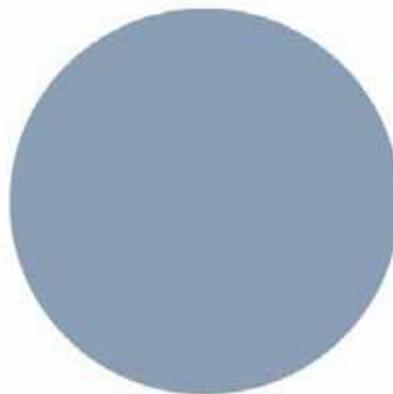
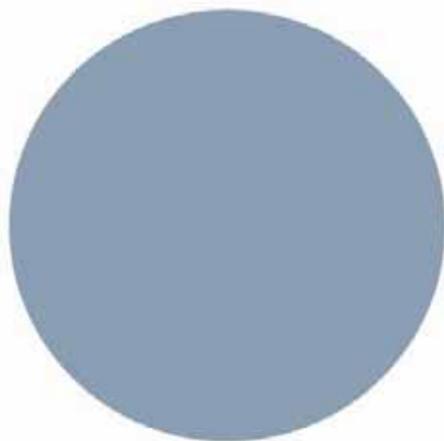
有楽町 ATELIER MUJI

「もの八分目 Product fitness 80」開催のお知らせ

株式会社良品計画(東京都豊島区/代表取締役社長 金井政明)は、無印良品のものづくりの理念を世界に発信するためのデザイン展示会「もの八分目 Product fitness 80」を無印良品有楽町2FのATELIER MUJIにて3月1日~20日に開催いたします。この展示は2月2日に当社リリースにてお知らせしたロンドン・デザイン・ミュージアムにて3月9日~18日に開催する同名の展示会と同様の内容となります。

もの八分目 Product fitness 80

MUJI



必要な大きさや量を超えてバランスを崩し、肥大化した生活をもとの適正なサイズ、量、素材等に戻そうとする無印良品のものづくりの姿勢を「もの八分目 Product fitness 80」と題し、世界にメッセージを発信します。テーブルの脚を少し細くする。収納ケースを少し小さくする。あるいは、使用する素材を削減しても、サイズや機能を損なわない構造設計に取り組むといった、ものづくりの姿勢を単なるマイナスの思考ではなく、ものの「適正(fitness)」を見直すポジティブな活動として紹介します。

もの八分目 Product fitness 80 開催概要

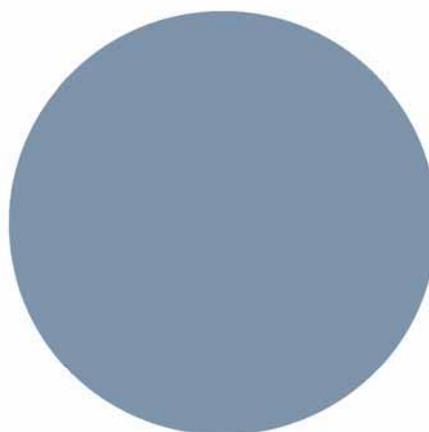
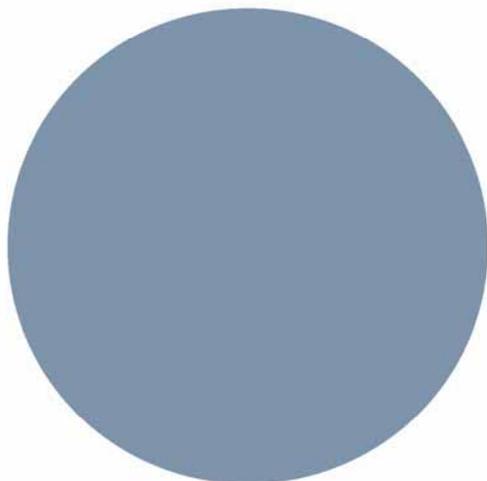
期 間:2012年3月1日~20日

会 場:無印良品有楽町2F ATELIER MUJI

< 添付資料 >

もの八分目 Product fitness 80

MUJI



日本には古くから「腹八分目」という言葉があります。食べすぎず、お腹に少し余裕を持たせて食べることが健康によい。健康において「適性（フィットネス）」を保つことが肝腎である、という格言です。それは100パーセントの満足度を80パーセントにおさえる「我慢」という意味にもとらえられなくはありませんが、むしろ過剰になった欲望を適切な状態に戻す抑制力あるいはさらに喜びと捉えた方がよいかもしれません。

2011年3月11日に起こった東日本大震災から、私たちは多くのことを学びました。ものを大切にする心、過剰に消費されるものや素材、欲望を駆り立てる過剰な報道や情報など。もっともっとと削らもうとする人間の欲望を健全な状態に戻さなければならないと誰もが痛切に感じたことでしょう。

無印良品はその「適性」を常に見いだそうとしてきました。どちらかといえば「それは余計なことではないか」「やり過ぎではないか」という抑制側の立場から、ものづくりを行ってきたつもりです。しかし、この震災を機に、さらなる「適性」を見つめ直して、社会と一緒にものづくりを考えていかなければいけない、それを強く自覚し、この展示会を企画するに至りました。

例えば今まで使ってきた材料が過剰すぎないか、もの大きさや重量が適性を超えていないだろうか、製品を過剰に包装していないだろうか、生産の工程や輸送に無駄がないだろうか、つくりすぎて余ったものを捨てていないだろうか。「もの八分目」は無印良品が今あらためて「適性（フィットネス）」を見直し、世界に向けて伝えていきたいメッセージです。

時間： **3月1日|木|** — **3月20日|火・祝|**

会場： 無印良品 有楽町 2F **ATELIER MUJI** ※最終日は18:00にて閉場。

無印良品